

第 32 回 東京総会

第 32 回新京櫻木小学校同窓会は、関東支部の担当で都内「東京ガーデンパレス」で開催しました。



午後 5 時半、写真室で記念写真の撮影のあと、6 時から平野 熙幸幹事長(写真)の司会で開会しました。

この 1 年間の物故者の冥福を祈って黙祷し、続いて石原敦子さん(8 期)のピアノ伴奏で出席者全員が校歌を斉唱しました。

会員も全員が後期高齢者となり、同伴者の帯同を勧めたことで多くの方が参加し、同伴者 17 人、会員 85 人の 102 人と、5 年ぶりに 100 人を超え、盛会となりました。特に錦ヶ丘高等女学校の同級生の参加が目を引き、賑やかな会となりました。



あいさつに立った黒岩武会長(8 期)(写真)は、今回は、特に会員からも要望のあったこの同窓会の発足の経緯について、昭和 51 年 7 月開催の準備会に至るまでから、

自費で 80 万円の広告を新聞に掲載して同窓生に呼びかけたこと、そして同 52 年 2 月の第 1 回同窓会開催までの苦労話や、昭和の時代は隔年開催だったこと、などが語られました。

乾杯の音頭は、今年もお元気でご夫婦で出席の最長老の浦野友行(4 期)さんで、開宴しました。



戦争の記憶を絵本に

宴もたけなわの内に会員から 2 冊の絵本が紹介されました。賛助会員、高橋うららさんから「せんそうってなんだっの?」<学研>と、7 期の石河紘さんからの「もう 10 年もすれば」<今人舎>です。

本誌 3 頁に紹介してあります。

石原さんのピアノ演奏 懐かしのメロディーが

校歌の伴奏に続いて石原敦子さんのピアノで懐かしの童謡メロディー 10 曲が演奏されました。



桜木会少年少女？ 合唱団も

続いてこの日のために各自自習してきた桜木会少年少女？合唱団が登壇、石原さんのピアノの伴奏で、ブツケ本番の満州小学唱歌を披露しました。

小学 2 年生、3 年生の「たかあしをどり」「こな雪」「娘々祭(にゃんにゃんまつり)」の 3 曲。



8 時半、閉会挨拶は、関西支部の森かよ子幹事長(写真)で「来年の大阪総会は 11 月 5 日」との発表があり、散会しました。



翌日の観光は 東京スカイツリー

翌日の観光には 44 人が参加で、東京スカイツリーを見学、昼は名物「浅草むぎとろ」を食べて、解散しました。



寄付をいただきました

滝本節子先生、14期の岩瀬立子さんからそれぞれ10,000円の寄付をいただきました。

また3期の櫻井重彦さんからは、昨年9月に退会のお申し出でしたが、その際、記念切手を含め13,080円を寄付していただきました。すべて50円、80円切手で、その枚数だけの2円切手を購入されてお送りいただきました。

この紙上をお借りして厚くお礼申しあげます。

九州支部長に、中原巨二さん

九州支部は、1月の福岡支部例会で新しい役員を選出し、空席となった支部長に中原巨二(11期)さんが、また幹事長には岡田哲也(13期)さんが就任しました。



長岡芙美子九州支部長 帰らぬ人に

九州支部の長岡芙美子支部長(7期)が、昨年11月17日に亡くなりました。

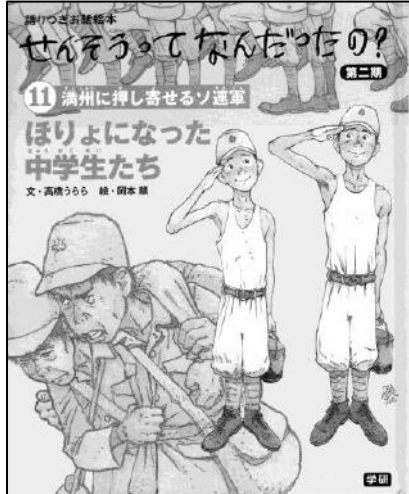
長岡さんは、平成24年5月、空席になっていた九州支部長を引き受けていただきました。翌年の名古屋総会に続き、昨年の東京総会も「出席」との連絡をいただきましたが、総会前日に急きょ手術入院日となり、欠席の手続きをいたしました。そして残念ながら17日に亡くなりました。妹さんは10期の戸川田美子さんです。なお、故人の遺志として戸川さんから10,000円を寄贈していただきました。

平成26年度分の年会費を納めてくださった299名の皆さんです。(敬称略、順不同)

(師) 宮腰勇治 諏訪敏子 高瀬千代子 滝本節子 羽田恭子 廣野貞子 (1期) 岸良明 斉藤道正 中野寛 水野好子 (2期) 伊藤貞子 長田京子 (3期) 川口哲夫 佐々木嘉郎 櫻井重彦 田中和雄 石崎昭子 服部和子 (4期) 安良城勝也 青木淳 浦野友行 黒田涵兵衛 伊達愛巳 幡川宏邦 村上安則 山内誠示 渡部昭一郎 本間孝子 盛本昱子 (5期) 石川斉	小笠原恒信 小形喜代志 岡田博吉 筒井昭 淵上正敏 増田好彦 松川清 宗像学 和田敦雄 岡部春海 奥田美枝子 桂禧代 小谷良子 斉藤淳子 塩見文恵 高橋千代子 武田雅子 松村康子 (6期) 斉藤欣一 藤村繁 堀内光雄 堀口恭宣 向井徹 横沢昭 石川里子 上田美智子 奥西博子 斉藤奎子 進藤栄子 新谷禎子 高橋紀代子 鎮守満子 南郷みどり 樋口清子 平山澄子	福田洋子 牧野英子 丸山清子 武藤節子 村山美代子 森崎千恵子 安田淑子 柳本禮子 山田てる子 山本洋子 渡邊眞智子 (7期) 五十嵐宏三 遠藤英裕 勝田尚夫 田上中 高橋正男 高松不匱 寺戸恭平 西澤毅 平野孝路 鹿毛篤子 金子ひろみ 亀岡佳子 刈谷志津 関口和子 田中和枝 武谷潤子 遠矢千鶴子 長岡扶美子 原義子 太布サチ (8期) 阿久津武雄 小原敏 亀田実	黒岩武 古瀬亨 小林修 佐藤道男 高橋徹朗 長沼孝雄 濱堯夫 原田穰 堀秀一 松島緑郎 三浦孝男 伊藤智子 石原敦子 石森順子 上原睦子 太田京子 神戸薫子 木村欣子 近藤照子 桜田佐久子 椎木惇子 園田洋子 高橋玲子 新枝幸枝 野中良子 馬場洋子 森かよ子 矢崎水尾 (9期) 有安斉 池上賢 遠藤了一 大坪秀人 加藤修身 下条貞友 滝口一志	利光久輝 鳥谷惇 竹内公平 羽賀道信 橋本修二 福田芳仁 福中脩 前田晃一 松川幹典 池上とし子 片山敏子 近藤洋子 瀬戸山良子 高橋安子 竹田イサ子 丹純子 西川幸子 根津和子 乘田春子 萩原光子 森川マリ 山崎真子 山田晶子 (10期) 植木英一 梅原幸雄 小野登茂衛 岡田晃吉 桜井秀郎 日比哲郎 平井丈夫 藤村真示 有吉翠 桶山弘子 上村保子 河尻斐子	小林陽子 田上久子 土屋ゆかり 染谷裕子 戸川田美子 中澤桂 中島敏子 仁科京子 長谷川恭子 福島仁子 星川正子 堀川マツ子 前田絹子 三村善美 溝口決子 森順子 湯本雅子 吉田弘子 (11期) 相京溥士 浅川幹雄 熱海静雄 飯吉光夫 岩橋宏 内布康二 小名木久夫 北島米和 小林真一 佐藤義男 品川次郎 高尾邦孝 手柴秀孝 中島勝 中原巨二 平野熙明 堀口武	堀越一男 渡邊尚 江口洋子 松岡将 緒方滯子 加藤岡八千代 北野玲子 園田弘子 高柳多津子 田中慶子 筒井恵津子 中村哲 野村さゆり 藤原聖子 古屋恭子 村上百合子 山下朗子 渡辺幹子 (12期) 浅川泰一 石河紘 川北昌弘 木塚昭則 滝川尚二 滝口敏行 武田邦彦 藤塚立夫 森敏昭 横山恒雄 安達美和子 伊藤泰子 加藤瑠璃子 榎本伸子 喜々津多栄子 菊川昌子 熊原敏栄	鈴木令子 前田暢子 米長ハル子 永江末加岐 (13期) 香山寿夫 久芳繁 栗田達雄 佐々木慧 佐々木正教 酒井希久朗 菅原宗人 新谷治 光岡義明 山中章伍 明石奈保子 伊吹万里 近江環 岡本弘美 加藤蓉子 近藤満美子 澁谷恭子 谷川和子 玉木恭子 友尻ミチ子 藤永美沙子 溝端育代 (14期) 青柳二郎 杉田佳夫 棚瀬幸雄 平野熙幸 本間達志 村上満男 岩瀬立子 小林道子	武内充子 坂東義子 森和子 原田恭子 横山宏子 吉井薫子 (15期) 大塚至誠 坂田信之 木村厚子 酒瀬川千恵子 高田佐衣子 高村珂珠子 南好子 森静子 (賛助) 井田哲夫 武多努 岡本公明 北川フミ 奈良満雄 高橋うらら 藤井登茂子 藤中秀子 井上文夫 菅沼一美 本多康子 大河原貞亮 [過年度分] (6期) 武藤節子 (9期) 福田芳仁
--	--	--	---	---	---	--	---	--

後世に伝えたい 消えゆく戦争の記憶

「せんそうってなんだっの？」は、5年前に賛助会員として入会した若い日本児童文芸家協会理事の高橋うららさんが、戦争の悲惨さを、櫻木会会員から話を聞いて、今の子どもたちに伝えようと書いていたもので、このほどやっと出版にこぎつけました。



その題材は、一昨年(2013年)12月に亡くなった「仔羊たちの戦場」の著者、7期の谷口佑(たにぐち ただし)さんから数年にわたって話を聞いて「ほりよになった中学生たち」を絵本にまとめました。

谷口さんはこの

出版には間に合わず亡くなりました。

終戦直前の満州で、勤労働員に行っていた中学生たちが、ソ連侵攻の混乱の中、ソ連の捕虜になってしまったという谷口さんの貴重な体験が描かれています。(発行所：学研教育出版)

「もう10年もすれば」は、7期の石河紀(いしこただす)さんから紹介されました。

満州から引き揚げてきた漫画家が、自身の経験を漫画で表し、消えゆく戦争の記憶を後世に残そうと出版したものです。

執筆は、中国引揚げ漫画家の会の、赤塚不二夫、上田トシコ、北見けんいち、高井研一郎、ちばてつや、古谷三敏、森田拳次、山内ジョージ、横山孝雄、石子順。他に林静一、山口太一が特別参加。(発行所：今人舎)



<新会員>

氏名	旧姓	〒	住所	電話
賛幼 大河原貞亮				
賛12 井上文夫				

<住所/表示変更>

8期 伊藤智子	桜井			
10期 野村満男				
10期 溝口決子	中川			
14期 上田隆之				

<転居先判明>

師 野中政	新野			
5期 淵上正敏				
11期 岩橋宏				
13期 溝端育代	北郷			
13期 伊吹万里				

<物故者>

氏名	旧姓	去世	氏名	旧姓	去世	氏名	旧姓	去世
4期 篠原吉哉		平26. 5. 16	7期 長岡扶美子		平26. 11. 17	10期 加藤栄彦		平26. 5.
4期 伊達愛巳		平26. 11. 25	8期 伊達雄洋		平24.	11期 宮本東		平26.
5期 大沼多美子			8期 佐藤桂子	田中	平26. 7. 29	11期 山根正和		
6期 鶴見剛		平26. 4. 20	9期 石崎博司		平24.	11期 矢部篤		平26. 3. 20
6期 河上英明		平24. 9. 2	9期 小栗祥裕		平26. 9. 21	11期 平野熙明		平27. 1. 13
7期 川崎礼	大桃		9期 小林衛		平24. 6	11期 小林真一		平27. 3. 5
7期 甲賀明子	上田	平26.	9期 加賀アキヨ		平20. 10. 13	11期 岩田陽子	野坂	平27. 1. 5
			10期 梅原幸雄		平27. 4. 19	13期 佐々田徳蔵		平26. 4. 12
			10期 上田陸郎		平26. 8. 1	14期 青柳定郎		平27. 1. 21

<退会>

3期 櫻井重彦		6期 斉藤欣一		8期 上原睦子	恒吉	10期 熊谷環	小貫	11期 松村迪子	押谷
5期 奥田美枝子	鈴木	7期 田上中		10期 池田芳洋		10期 久保野雪子	山本	13期 小田明美	角谷
		8期 池田幸子	鳥原	10期 森順子	池田	10期 伏田和代	川上	13期 早瀬春江	笛木

<転居先不明>

1期 清水哲子		5期 新野祝		8期 上羽一美	北市	10期 村松為久		13期 箕田光子	宮本
5期 菊池陽	中村	6期 藤井幸子	岩崎	9期 林信子	岡本	11期 服部仁		13期 友尻ミチ子	堀川
		7期 平野徳子	片倉	10期 天野豊明		11期 宮垣明次		14期 加藤照雄	

消 息

2015.6.30
現在

第32回 東京総会収支報告書

実施:平成26年11月11日、12日 会場:東京ガーデンパレス

収入の部			支出の部		
項目	金額(円)	摘要	項目	金額(円)	摘要
総会費	1,848,000		総会費	1,513,331	102名
(内訳) 宿泊者	1,235,000	19,000×65	(内訳)	592,320	宿泊料 64名
日帰者	320,000	10,000×32		778,829	宴会費 102名
同伴者宿泊者	221,000	17,000×13		126,144	写真代86枚
同伴者日帰者	72,000	8,000×9		16,038	キャンセル料
観光費	432,000		観光費	442,106	44名
(内訳) 参加予定	432,000	8,000×54	(内訳)	117,930	バス代等
				219,873	昼食代
				83,250	東京スカイツリー入場料
				21,053	代理店取扱手数料
本部会計より	20,961	総会不足金	払戻金	345,524	キャンセルによる払戻し
合計	2,300,961		合計	2,300,961	

平成26年度決算報告書(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

① 本部

収入の部			支出の部		
項目	金額(円)	摘要	項目	金額(円)	摘要
前期繰越金	618,550		支部活動費	241,600	@60,400×4
年会費	594,000	@2,000×297	総会費	215,484	本部負担分
過年度年会費	12,000	2,000+10,000	印刷費	62,678	会誌"さくらぎ"等
寄付金	30,000	@10,000×3	振替払込料	36,440	
受取利息	227		慶弔費	31,516	長岡美子支部長他
			事務用品費	12,303	
			総会費不足分	20,961	
			次期繰越金	633,795	
合計	1,254,777		合計	1,254,777	

② 関東支部

前期繰越金	429,806		幹事会費	43,410	3回
支部活動費	60,400		懇親会費	183,050	5/31
懇親会費 5/31	169,000	@6,500×26	通信費他	15,855	
合計	659,206		次期繰越金	416,891	
			合計	659,206	

③ 関西支部

前期繰越金	155,330		幹事会	62,384	
支部活動費	60,400		懇親会	223,515	3回
懇親会費	244,000	個人負担 3回	通信事務費	33,676	
受取利息	14		次期繰越金	140,169	
合計	459,744		合計	459,744	

④ 九州支部

前期繰越金	212,080		例会費	130,635	3回
支部活動費	60,400	26年度分	次期繰越金	254,916	
例会費	102,400	個人負担 3回			
立替金	10,623				
受取利息	48				
合計	385,551		合計	385,551	

⑤ 中部支部

前期繰越金	408,254		懇親会費	196,410	2回
支部活動費	60,400	26年度分	通信費	11,630	
懇親会費	179,500	個人負担	事務用品費	2,710	
受取利息	49		次期繰越金	437,453	
合計	648,203		合計	648,203	

(平成26年6月30日現在 会員数)

	師	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	9期	10期	11期	12期	13期	14期	15期	計	賛助
男	6	5	1	15	34	24	27	37	29	51	32	33	37	24	23	9	387	6
女	11	13	13	17	21	37	41	43	43	53	50	33	32	28	12	14	461	8
海外	0	0	1	2	0	0	1	2	1	2	1	4	2	0	1	0	17	0
計	17	18	15	34	55	61	69	82	73	106	83	70	71	52	36	23	865	14

(平成25年6月30日現在との比較)

増減	-3	0	-2	-2	-3	-1	0	-5	-3	-4	-1	-1	0	1	-5	0	-29	2
----	----	---	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	---	---	----	---	-----	---